

西丹沢の滝めぐり

日時：2019年8月24日（土） 天候：晴 歩数23000歩 距離17km

集合：小田急線新松田駅8時

コース：新松田駅→バス→西丹沢ビジターセンター→下棚の滝→本棚の滝→西丹沢ビジターセンター→箒杉→
中川温泉→中川橋→三保ダム→バス→新松田駅

参加者：吉野L 熊坂SL 平石 河野 清水正 伊藤美 栗田 市村 高橋紀 中村ゆ 丹後 加納喜 奥村
高山 畠 三田 鹿島 17人

局地的に強い雨や雷雨があったりして天候不安定な日が続き開催が心配された「西丹沢の滝めぐり」、晴天に恵まれての滝めぐりとなりました。

吉野リーダーが「このコースは神奈川ウォーキングクラブが健脚ウォーキングを始めようと計画した第1回目のウォークです。2002年8月25日実施で、今ほど会員が多くないときに17名もの人が参加しました。神奈川ウォーキングクラブの健脚コースは、ここから始まりました」と説明してくれました。この日の参加者も17名、歴史の重みを受け止めての健脚ウォークとなりました。

コースは、午前中は豪快におちる下棚と本棚の二つの滝をめざしてのアドベンチャー沢歩き、午後は樹齢2000年の箒杉をめざしてのロードウォーク、「ふたつの歩く」を楽しみました。



新松田駅～山北駅バス停～谷峨駅バス停～西丹沢ビジターセンター

集合は小田急線新松田駅8時00分、西丹沢や箱根の金時山、富士山などへのバスが発車しています。富士急バス1番線、西丹沢ビジターセンター行き8時10分発に乗車。前を走るのは途中まで同じ道の大雄山駅・地藏堂行き箱根登山バス。

国道246号に沿って走ります。左手前方に明神ヶ岳、金時山、矢倉岳の山並みが見えます。山北駅、谷峨駅バス停を過ぎ、246号線に入り、右折して76号線を走ります。「箒杉まで13km」の看板が見えました。左手に道の駅山北を眺めながら河内(こうち)川沿いを上流へ、中川温泉郷を過ぎてバスは高度をあげていきます。

丹沢湖エリアに入り、登山の起点になっている玄倉バス停まで行き、途中まで戻って丹沢湖沿いに走り、9時24分に西丹沢ビジターセンターに到着。登山客やキャンプに参加の小学生などで込み合っていました。

ストレッチリーダーは熊坂さん、バス折り返しの駐車場の隅で入念にストレッチ。吉野リーダーからコース説明を受けました。



西丹沢ビジターセンター～西丹沢公園橋～沢渡りの連続です😊

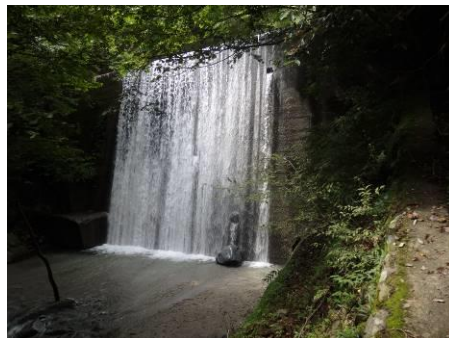
9時42分、下棚の滝をめざしてスタートです。吉野リーダーを先頭に河内（こうち）川に架かる西丹沢公園橋を渡ります。最後尾は熊坂サブリーダー。沢沿いの杉林を上り、堰堤石段を昇り、沢渡りの連続です。



アドベンチャー気分満喫の沢渡り～あれれ!!木橋が流されている！

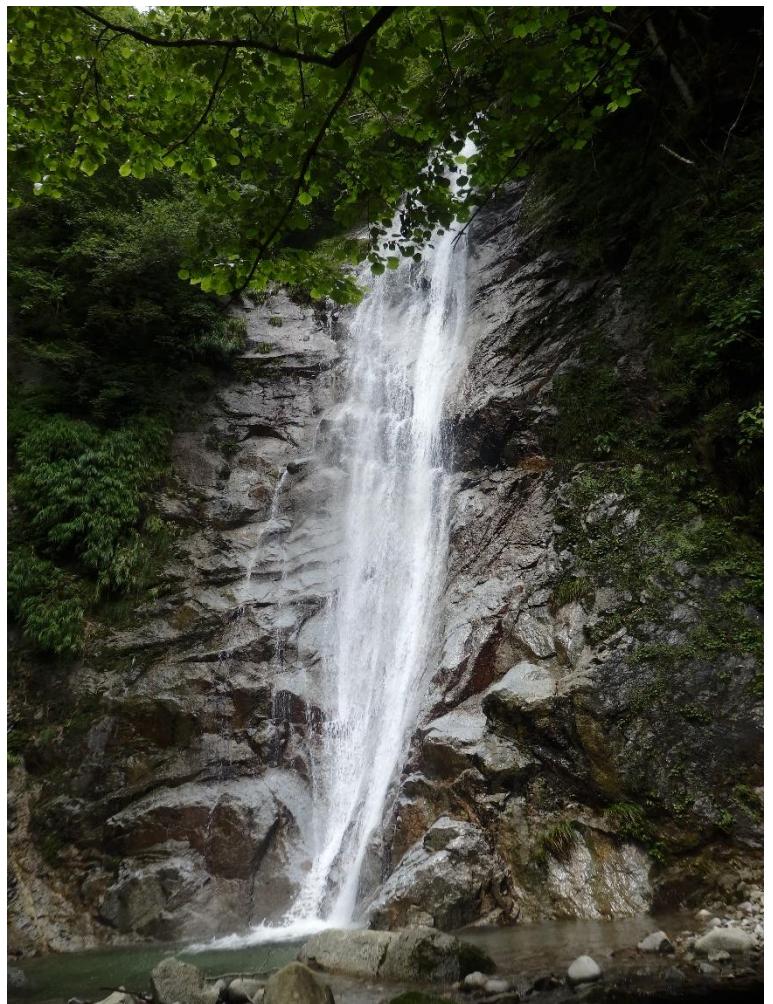
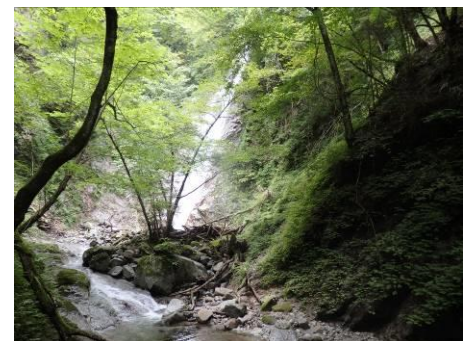
清流の水量が多く、熊坂さんは素足になっての沢渡り。アドベンチャー気分満喫です。下棚の滝はまだ奥です。西沢台堰堤から落差20メートルほどの水が豪快に流れ落ちています。堰堤を上りきると、緩やかな流れの水辺で10数人の小学生グループが付き添いの大人たちと水遊びを楽しんでいました。

少し進むと何か様子が変わります。2つある木橋の奥の橋が、本来なら真ん中の大きな石の上に乗っていなければいけないのに、流されて横向きになってしまっています。みなさん、靴が濡れるのは覚悟して慎重に渡ります。



鎖場の登り～滝下の急登～マイナスイオンいっぱいの下棚の滝

流された木橋のところを全員渡り切ります。それでもなお沢渡りは続きます。ビジターセンターの話では、木橋は10カ所ほどあります。鎖場を登ります。ようやく下棚の滝が見えました。急登を登り切って11時丁度、下棚の滝到着です。滝の下はマイナスイオンがいっぱいで爽快感たっぷりです。



下棚の滝～分岐まで沢下り～本棚への沢上り～落差70mの本棚の滝

11時5分、上って来た沢を本棚の滝分岐まで下ります。滝下の岩場の横を蟹さん歩きでヒョイ。ガレ場、木橋渡りをして本棚への分岐。ここからまた沢上り、しばらくすると滝が見えました。しかし本棚の滝は、この左側で見えません。滝の水が流れ落ちる岩場を上り11時25分、落差70mの圧巻本棚の滝到着です。



満足表情三田さん&7人集合写真～野外卓のある開けた場所で小休憩

ただ一人滝壺まで行った三田さんが、満足そうな表情で戻ってきました。滝壺から見上げた本棚の滝は大迫力だったでしょう。先に下りてしまった人がいたので、吉野リーダーを真ん中に7人の集合写真。マイナスイオンの風の爽快感を感じてみなさん笑顔です。

11時35分、戻りです。下棚滝・本棚滝分岐を通り、野外卓のある開けた場所に出ました。ここで、休憩中の小学生集団が「こんにちは」と元気よく迎えてくれました。小休憩です。栗田さんは携帯扇風機で涼をとり、高山さんとお話し、「本棚の滝迫力あったわね」などと話しているのでしょうか・・・



小休憩して元気回復～鎖場も沢渡りもなんのその～ビジターセンター

小休憩して元気回復、西丹沢ビジターセンターをめざします。時刻は12時。鎖場の急峻な下り、木橋の流された沢渡り、岩場の沢渡りもなんのその、吉野リーダーの「西丹沢滝めぐり」コース参加で、みなさん沢渡りの足場の位置取りなど技術力レベルアップです。とはいえ、なだらかな水辺までくると緊張感ほぐれ開放感いっぱい。西丹沢公園橋を渡り12時47分、西丹沢ビジターセンターへ下りてきました。

木立に囲まれた広場で昼食。階段に座り込んでの組は濡れた靴を脱いで、河野さんと清水さんから手作りお新香のお裾分けをいただきました。ベンチ組は話が弾んでいる様子。心地よい風が疲れた体をいやしてくれました。



ビジターセンター～ロードウォーク～樹齢2000年「中川の箒杉」

広場には、丹沢山塊の岩石が20ほど展示説明されていました。ちなみに枕状溶岩は「約1700万年前に海底を割って湧き出したマグマ」と説明されていました。13時30分、西丹沢ビジターセンターをスタート、少し下り道のロードウォークです。日差しが強く、顔を照らします。風は爽やかで「自然の風は最高ね」などと話しながらのウォーキング。進行方向左側に中川川に架かる箒沢公園橋があり檜洞丸（ひのきぼらまる）（標高1601m）への入り口となっていました。14時少し前、熊野神社境内にある樹齢2000年の「中川の箒杉」に到着しました。樹高45m、胸高周囲12m、はるか弥生時代から生きている姿に圧倒されました。



箒杉～箒杉バス停～西丹沢中川温泉郷入口～中川橋～永歳橋

箒杉をバックに集合写真を撮って14時7分スタートです。少し下って76号線に出て箒杉バス停を通過、新箒沢隧道を抜けます。少し行くと眼下に大滝キャンプ場が見えました。家族連れや若い人が川遊びを楽しんでいました。30分ほど歩いた中川バス停で水分補給をして小休憩。

西丹沢中川温泉郷入口前、この周辺は民家も多く畑も見られました。蝉が賑やかに鳴き、赤トンボとツバメが飛び交っていました。中川橋バス停を過ぎ、三保小学校へ通じる学校交差点を過ぎると丹沢湖の上流部が見えてきました。さらに進むと永歳橋が見えてきました。ゴールの丹沢湖バス停は間近です。



永歳橋～丹沢湖バス停 2万3000歩17kmのウォーク

永歳橋を渡ります。右手に落合館の「丹こぶ梅（つが）」、大変珍しいこぶ状になっています。南アルプス産で500年以上を経ています。湖畔に三保小学校が見えます。15時42分、丹沢湖バス停に着きました。16時1分発のバスまで小休憩、そして奥村さんのリードでクールダウン。

24節気「処暑」翌日の8月24日、猛暑日から暑さが少し和らいだ2万3000歩、17kmのアドベンチャー沢歩き&ロードウォークでした。



16時55分、新松田駅に着きました。この日は「まつだ観光まつり」で、駅前にはパレードが行われていました。近くの「えん楽」で7人がアフター交流をしました。



最期一枚は、1985年丹沢湖マラソン参加賞の小物入れ。三保小学校を起点に丹沢湖周回コースで行われました。一般の一番短い5kmコースに参加、今より体重が7～8kgは軽かったと思います。34年前を思い出しながら、中川橋あたりで列の一番後ろから先頭の吉野リーダーのところまで走ってみました。 いちむら記